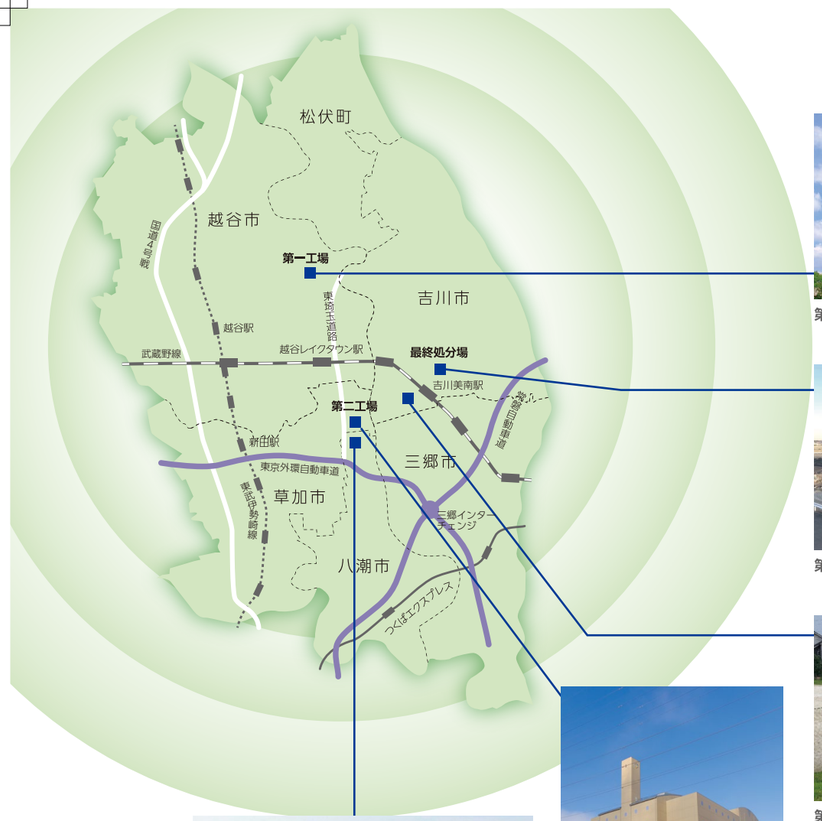


第一工場ごみ処理施設

第二最終処分場

第一最終処分場

第二工場汚泥再生処理センター

第二工場ごみ処理施設

東埼玉資源環境組合

第一工場 ごみ処理施設・堆肥化施設	〒343-0011	越谷市増林三丁目2番地1 電話 048-966-0121
第二工場 ごみ処理施設	〒340-0001	草加市柿木町107番地1 電話 048-936-1251
第二工場 汚泥再生処理センター	〒340-0801	八潮市大字八條681番地1
第一最終処分場	〒342-0038	吉川市美南二丁目6番地2
第二最終処分場	〒342-0035	吉川市大字高久666番地1

ホームページ　https://www.reuse.or.jp

「かんちゃん」

「かんきょう博士」

「お母さん」

〈 第一工場キャラクター 〉

「パーシー」

「しぶ爺」

〈 第二工場キャラクター 〉

「キラリン」

〈 汚泥再生処理センター キャラクター 〉

2024.03

東埼玉資源環境組合

東埼玉資源環境組合は、埼玉県東南部地区の５市１町（越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町）で組織される一部事務組合で、管内の一般廃棄物（可燃ごみ・し尿）を処理しています。

リユース
REUSE

東埼玉資源環境組合構成市町及び施設について

第一工場ごみ処理施設 越谷市

所 在 地	埼玉県越谷市増林三丁目2番地1		
敷地面積	45,875.44㎡（堆肥化施設を含む）		
建築面積	20,297.61㎡	○工場・管理棟 ○煙突	19,968.72㎡ 328.89㎡
延床面積	56,989.74㎡	○工場・管理棟 ○煙突	56,259.59㎡ 730.15㎡
焼却炉処理能力	800t/日（200t/日・4炉）		
処理方式	全連続燃焼式機械炉		

第一工場堆肥化施設 越谷市

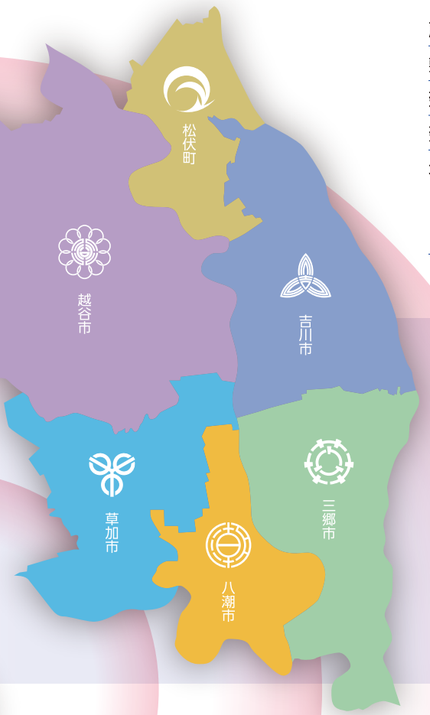
所 在 地	埼玉県越谷市増林三丁目2番地1
敷地面積	7,800㎡
建築面積	2,772.22㎡
延床面積	2,772.22㎡

第二工場ごみ処理施設（パーシクル） 草加市

所 在 地	埼玉県草加市柿木町107番地1
敷地面積	33,925.16㎡
建築面積	7,685.57㎡
延床面積	15,379.29㎡
焼却炉処理能力	297t/日（148.5t/日・2炉）
処理方式	直接ガス化溶融炉

第二最終処分場（エコパーク吉川「みどり」） 吉川市

所 在 地	埼玉県吉川市大字高久666番地1	
敷地面積	47,938.51㎡	
建築面積	1,199.50㎡	
延床面積	1,379.66㎡	
埋立処分地	埋立地面積 埋立地深さ 埋立容量 埋立対象物	31,000㎡ 平均 5.5m 170,000㎥ 溶融スラグ（現在、溶融スラグの埋立ては行っていません）



管内面積

組合市町	面 積
越 谷 市	60.24㎢
草 加 市	27.46㎢
八 潮 市	18.02㎢
三 郷 市	30.22㎢
吉 川 市	31.66㎢
松 伏 町	16.20㎢
合 計	183.80㎢

管内人口

組合市町	人 口
越 谷 市	343,062人
草 加 市	251,219人
八 潮 市	93,036人
三 郷 市	141,942人
吉 川 市	72,678人
松 伏 町	28,139人
合 計	930,076人

管内世帯数

組合市町	世帯数
越 谷 市	161,779世帯
草 加 市	124,874世帯
八 潮 市	46,103世帯
三 郷 市	67,666世帯
吉 川 市	31,977世帯
松 伏 町	12,345世帯
合 計	444,744世帯

（令和6年（2024年）1月1日現在）

第二工場汚泥再生処理センター（八條キラリ） 八潮市

所 在 地	埼玉県八潮市大字八條681番地1
敷地面積	25,884.14㎡
建築面積	1,609.40㎡
延床面積	3,226.92㎡
処理方式	固液分離方式 ＋ 水処理方式 ＋ 下水道放流
処理能力	260kℓ/日
資源化方式	助燃剤化方式

沿革と組合章について

沿革

東埼玉資源環境組合の設立前となる昭和36年（1961年）1月に「草加・越谷清掃組合」が発足し、ごみ処理の共同処理が始まり、その後近郊町村においても、人口急増等によりごみ処理及びし尿処理が大きな問題となり、清掃行政の広域化促進から2市3町1村（現在の越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市及び松伏町）による「埼玉県東部清掃組合施設整備協議会」が昭和36年12月に設立され、昭和40年（1965年）10月に「埼玉県東部清掃組合」が発足しました。その後、平成11年（1999年）4月に「東埼玉資源環境組合」と名称を変更し、現在に至ります。

あゆみ

昭和40年（1965年）	10月	埼玉県東部清掃組合発足
昭和42年（1967年）	3月	第1次し尿処理施設完成（100kℓ/日）（平成4年1月撤去）
昭和43年（1968年）	3月	第1次ごみ処理施設完成（30t/8h×2炉）（平成9年1月撤去）
昭和44年（1969年）	3月	第2次し尿処理施設完成（100kℓ/日）（平成4年1月撤去）
昭和46年（1971年）	3月	第3次し尿処理施設完成（200kℓ/日）（平成4年1月撤去）
昭和48年（1973年）	5月	第2次ごみ処理施設完成（150t/日×2炉）（平成9年1月撤去）
昭和48年	10月	第4次し尿処理施設完成（200kℓ/日）（平成10年3月撤去）
昭和48年	11月	第1次ごみ処理施設改良完成（90t/日×2炉）（平成9年1月撤去）
昭和56年（1981年）	7月	第二工場し尿処理施設完成（200kℓ/日）
昭和60年（1985年）	3月	第二工場ごみ処理施設完成（150t/日×2炉、2,500kW）
昭和60年	3月	吉川町（美南（旧中曽根）地区）に第一最終処分場完成（61,057㎡）
平成　7年（1995年）	9月	第一工場ごみ処理施設完成（200t/日×4炉、12,000kW×2基）
平成　7年	10月	埼玉県東部清掃組合の愛称を「リユース（REUSE）」に決定
平成　9年（1997年）	3月	第二工場し尿処理施設改造完成（430kℓ/日）
平成10年（1998年）	4月	第二工場ごみ処理施設一時休止（平成19年9月撤去）
平成11年（1999年）	4月	東埼玉資源環境組合に名称変更
平成11年	9月	第一工場堆肥化施設完成
平成12年（2000年）	3月	ISO14001認証取得（平成29年認証返還）
平成14年（2002年）	3月	吉川市に第二最終処分場（エコパーク吉川「みどり」）完成（170,000㎡）
平成17年（2005年）	3月	堆肥化施設増築完成
平成28年（2016年）	3月	第二工場ごみ処理施設（パーシクル）完成（148.5t/日×2炉、9,400kW）
平成30年（2018年）	3月	第二工場汚泥再生処理センター（八條キラリ）完成（235kℓ/日）
令和　3年（2021年）	4月	第二工場汚泥再生処理センター処理能力変更（260kℓ/日）

東埼玉資源環境組合章

この組合章は、平成7年（1995年）10月1日に定められました。マーク全体はエネルギーの展開を意味し、6つの矢印は5市1町を表しています。また、リサイクルをイメージして、矢印が裏返っているデザインとなっています。

① 技術・開発　からし色
② 環境と調和　青色
③ 快適な住民の生活　緑色
④ 対話と行動力　だいだい色
⑤ 先進性と未来　水色
⑥ 資源　紫色

組合運営について

地元連絡協議会

第一工場（越谷市）、第二工場（草加市・八潮市）、最終処分場（吉川市）のそれぞれの地域において、地元連絡協議会が設立され、施設周辺地域のみなさまとの協議や情報交換を行っています。

地域

各施設周辺には、グラウンドや多目的広場などを設置し、少年野球やサッカーなど幅広く利用されています。

地域住民の健康増進及びコミュニティーの形成に寄与しています。

第一最終処分場グラウンド

第二工場いこいの広場

工場見学

管内の小学4年生が社会科の学習で訪れるほか、一般団体の工場見学も行っています。

毎年多くの児童が第一工場ごみ処理施設（越谷市）や第二工場ごみ処理施設（草加市）を訪れており、環境教育の充実に寄与しています。

また、夏休みには「3R講座」と併せて工場見学会を実施する「夏休み親子スクール」や、1人から参加できる「個人見学会」を開催しています。

小学生の工場見学

夏休み親子スクール

個人見学会

組合バス（55人定員）

地域協働・啓発事業

平成8年（1996年）から、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進及び地域住民との交流を図るため、地元の方々や環境関連事業者、組合を構成する市町との協働により「環境と情報の集い」（リユースまつり）を実施しています。

REUSE ポスター展

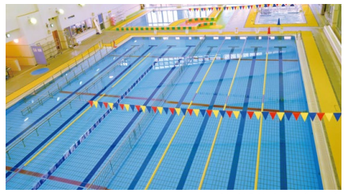
リユースまつり

余熱利用

組合は、可燃ごみの焼却時に発生する熱エネルギーを有効利用し、第一工場ごみ処理施設では隣接するいきいき館、越谷市農業技術センター及び民間老人福祉施設へ熱供給を行っています。

また、第二工場ごみ処理施設では、草加市市民温水プール（建替えのため、利用休止中）、八潮市老人福祉センター「すえひろ荘」へ熱供給を行っています。

いきいき館（越谷市立老人福祉センター「ゆりのき荘」）


いきいき館（越谷市民プール）

越谷市農業技術センター

草加市市民温水プール（建替えのため、利用休止中）

八潮市老人福祉センター「すえひろ荘」

民間老人福祉施設「憩いの里」

廃棄物発電

第一工場ごみ処理施設及び第二工場ごみ処理施設では、可燃ごみの焼却時に発生する熱を利用してボイラーで高温・高圧の蒸気を作り、その蒸気でタービンを動かすことにより、発電を行っています。

作られた電力は各施設内で利用するほか、小売電気事業者へ売却しています。廃棄物発電は、比較的安定した貴重なエネルギーとして地域の低炭素社会形成に寄与しています。

タービン（第一工場ごみ処理施設）

堆肥化事業

組合では、『緑のリサイクル』として、家庭や公園などから発生する 枝草を原料とした堆肥の生産を第一工場堆肥化施設において行っています。枝草をリサイクルすることにより、可燃ごみの減量化を推進しています。

また、組合を構成している5市1町の住民を対象として、堆肥の販売を行っています。

堆肥販売の様子

展望台公開（第一工場ごみ処理施設）

煙突を利用した地上80メートルの展望台からは、「東京スカイツリー」や「埼玉スタジアム2002」、富士山、筑波山など関東平野が一望できます。

また、7月・8月は、こしがや田んぼアート実行委員会による田んぼアートが見頃を迎え、組合構成市町以外からも多くの来場者が展望台を訪れています。

元日には、抽選で選ばれた方を対象に、初日の出を観賞できる「初日の出特別公開」のほか、どなたでも観賞できる時間を設けて公開しております。

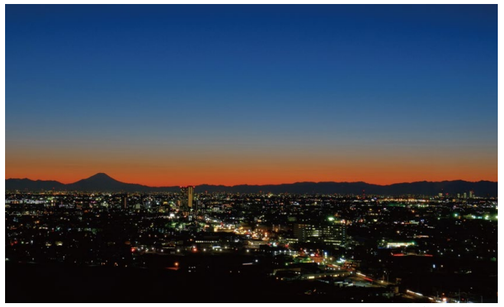
【展望台公開日】

平　　日：午前9時から午後5時まで(受付は午後4時30分まで)
第3日曜日：午前9時から午後4時30分まで(受付は午後4時まで)

第一工場ごみ処理施設 展望台

地上100メートルの煙突を
利用した展望台

煙突（4本）


展望台からの風景

展望台からの富士山

こしがや田んぼアート

ライトアップされた第一工場ごみ処理施設